

# 2022年度 第1種委員会 事業計画

オホーツク地区サッカー協会  
第1種委員会

## 1. サッカーリーグ

### (1) 令和4年度 第41回 北海道学生サッカーリーグ

日程	2022年 5月～10月
会場	網走スポーツトレーニングフィールド
参加	未定

### (2) 2022年度 第45回 北海道サッカーリーグ 第20回道東ブロックリーグ

日程	2022年 5月～9月
会場	網走スポーツトレーニングフィールド 他
参加	FC.網走

### (3) 2022年度 オホーツク地区社会人サッカーリーグ

日程	2022年 5月～10月
会場	北見モイワスポーツワールド ・ 網走スポーツトレーニングフィールド 他
参加	管内12チーム

## 2. サッカー大会

### (1) 2022年度 第40回 知事杯全道サッカー選手権大会 オホーツク地区予選大会

日程	本大会選考方法変更に伴い予選無し
会場	

### (2) 2022年度 第29回 全国クラブチーム選手権大会 道東ブロック予選大会

日程	2022年 8月14日(日) 予定
会場	えんがる球技場

※ 全道大会：9月3日(土)～ 4日(日) オホーツク地区

### (3) 2022年度 第58回 全道社会人サッカー選手権大会 オホーツク地区予選大会

日程	2022年 6月19日(日) or 7月10日(日) 予定
会場	北見モイワスポーツワールド

※ 全道大会：8月6日(土)～ 7日(月) 札幌地区

### (4) 2022年度 北海道サッカーリーグ 道東ブロックリーグ オホーツク地区入替戦

日程	2022年 10月16日(日)
会場	網走スポーツトレーニングフィールド

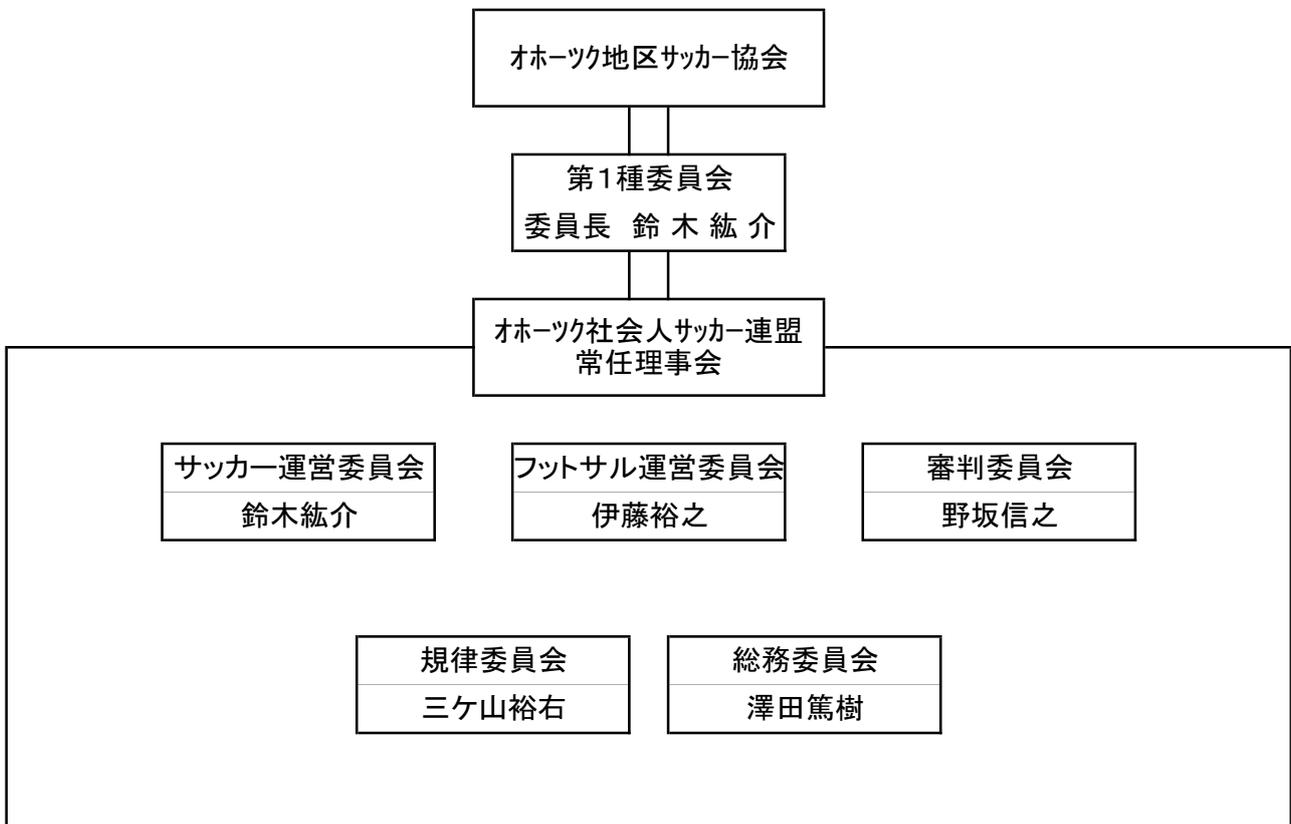
### (5) 2022年度 第4回 オホーツク地区社会人サッカーエンジョイ大会

日程	2022年 10月9日(日) 予定
会場	未定

### 3. フットサル大会

※ 2022年度よりフットサル委員会資料へ移管

#### オホーツク地区サッカー協会 第1種委員会 組織図



## 2022 年度オホーツク地区サッカー協会第 2 種委員会 事業計画

### 【1. 地区大会】

- (1) 2022 年度高体連シード決定戦、春季フェスティバル  
日 程：5 月 1 日（日）、5 月 3 日（火）～5 日（木）  
会 場：えんがる球技場、北見市内各会場
- (2) 2022 オホーツク地区 FA プレリーグ、FA リーグ  
日 程：(FA プレリーグ) 5 月 7 日（土）～7 月 3 日（日）  
(FA リーグ) 7 月 9 日（土）～10 月 16 日（日）  
会 場：北見市・網走市・紋別市・美幌町他
- (3) 令和 4 年度第 75 回高体連オホーツク支部サッカー選手権大会  
兼 第 75 回全道高等学校高校サッカー選手権大会オホーツク支部予選会  
日 程：5 月 25 日（水）～28 日（土）  
会 場：網走スポーツ・トレーニングフィールド  
当番校：網走南ヶ丘高等学校
- (4) 2022 年度第 101 回全国高等学校サッカー選手権大会オホーツク地区予選大会  
日 程：8 月 27 日（土）～28 日（日）/ 9 月 3 日（土）～4 日（日）  
予備日 9 月 10 日（土）～11 日（日）  
会 場：えんがる球技場
- (5) 令和 4 年度第 51 回高体連オホーツク支部新人サッカー選手権大会  
兼 北海道高校ユースサッカー新人大会オホーツク支部予選会  
日 程：9 月 27 日（火）～29 日（木）  
会 場：えんがる球技場
- (6) 第34回全道U-17フットサル選手権大会  
兼 JFA 第10回全日本U-18フットサル選手権大会北海道代表決定戦オホーツク地区予選  
日 程：12 月 10 日（土）～11 日（日）  
会 場：遠軽町総合体育館

### 【2. 地区フェスティバル】

- (1) 第 29 回オホーツクサッカーフェスティバル  
日 程：8 月 7 日（日）～10 日（水）  
会 場：北見市内各会場

### 【3. 道東大会】

- (1) 高円宮杯 JFAU-18 サッカー2022 北海道ブロックリーグ道東(1 部)  
日 程：4 月 16 日（土）～9 月 19 日（月・祝）  
参加校：網走南ヶ丘高校
- (2) 第11回北海道高校ユースサッカー新人大会  
日 程：11 月 5 日（土）～6 日（日）  
主 管：オホーツク地区サッカー協会

#### 【4. 全道大会】

- (1) 令和4年度第75回北海道高等学校サッカー選手権大会  
兼 全国高等学校総合体育大会サッカー競技北海道予選会  
日 程：6月14日（火）～17日（金）  
会 場：網走スポーツ・トレーニングフィールド  
当番校：網走南ヶ丘高等学校
  
- (2) 2022年度第101回全国高等学校サッカー選手権大会北海道大会  
日 程：10月15日（土）～17日（月）/22日（土）～23日（日）  
会 場：旭 川 / 札 幌
  
- (3) 2022年度第34回全道U-17フットサル選手権大会  
兼JFA第10回全日本U-18フットサル選手権大会北海道予選  
日 程：未 定  
会 場：未 定

【16→25プラン（2種委員会）】

プラン	リーグ文化の醸成	女子選手の普及	ファミリー拡大
内 容	・道東ブロックリーグ参入チームを複数とする。	・各学校での積極的な受け入れを促し、地区FAリーグ・新人戦に出場する女子選手を増やす。	・高体連及び選手権の全道大会出場チームによる大会報告を行う。
効 果	・真剣勝負をする場が長期にわたって展開されることにより、魅力あるチーム作りにつながる。	・女子選手が、高校年代でもサッカー（試合）ができる環境が増える。	・全道大会のレベルを知ることにより、それを目指した取り組みが行われ、魅力あるチームを多く作ることができる。 ・オホーツク地区の選手が全道大会で活躍することにより、子どもたちの目標となっていく。
反 省	・昨年度から2チームが参加している。	・サッカーを続ける女子選手が増えつつある。	・大会報告を協会HPに掲載するとともに、各学校のトレーニングに反映させている。
改善点	・各学校の状況に応じて支援の方法を検討する。 ・費用の面で参入が難しいのであれば、大会参加料の一部負担を地区協会に要望する。	・継続して実施する。 ・女子マネージャーの審判資格取得を推進し、女子が高校サッカー（試合）に関わる環境を増やす。	・継続して実施する。

【組織図（2種委員会）】

役 員	常任委員	専門部	各種事務局
委員長	遠紋地区代表	技術部長	地区FAリーグ
副委員長	北見東地区代表	審判部長	高校選手権
高体連専門委員	北見西地区代表	情報部長	フットサル
会計	斜網地区代表	医科学部長	春季フェスティバル
会計監査			オホーツクフェスティバル
			(東北北海道高校新人)

## 2022(令和4)年度 オホーツク地区サッカー協会第3種委員会 事業計画

### ○地区大会

期 日	事 業	会 場	担 当
5月14日(土)～9月18日(日) (基本的に土曜日開催)	OKFAカブスリーグ U-15/U-13	管内各地	リーグ運営委員
6月25日(土)・26日(日) 7月2日(土)	オホーツク地区中体連	呼人トレーニングフィールド えんがる球技場	中体連専門委員
11月5日(土)・6日(日)	フットサルU-15	紋別スポーツセンター	フットサル担当者
12月24日(土)・25日(日)	フットサルU-14	遠軽町総合体育館	

### ○道東ブロック大会・北海道大会日程

期 日	大 会 名	主 管 地 区
4月16日(日)～10月23日(日)	北海道カブスリーグU-15/U-13(2部)	全道各地
5月3日(火)～10月8日(土)	道東ブロックカブスリーグU-15/U-13	道東ブロック各地
6月11日(土)～	クラブユース選手権	全道各地
10月22日(土)・23日(日)	道東ブロックカブスリーグ参入戦	道東
7月29日(金)～7月31日(日)	北海道中学校サッカー大会	留萌
10月8日(土)・9日(日)・10日(月)	地区カブス決勝大会	苫小牧
10月8日(土)・9日(日)	4地区カブス交流大会	オホーツク
11月12日(土)・13日(日)	フットサルU-15 道東予選	十勝
12月10日(土)・12日(日)	フットサルU-15 北海道予選	札幌
2023年2月25日(土)・26日(日)	全道フットサルU-14	小樽

# OKFA 16 → 25プラン 第3種委員会

## 【2025年に向けたプラン】

リーグ文化の醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カブスリーグの通年化、ゲーム環境向上</li> <li>・道東カブス、道カブスリーグへのチーム輩出</li> </ul>
女子選手環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女子選手の登録数増加</li> <li>・女子選手のプレー環境の充実</li> </ul>
ファミリー 拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管内どこでもサッカーができる環境の整備</li> <li>・保護者や地域に愛され、応援される取り組みの充実</li> </ul>

## 【プラン実現のための仮説】

### 指導者養成

- ・エリアトレセンの活性化
- ・リフレッシュ研修会に参加
- ・3種指導者研修会の実施

### 指導者交流

- ・中体連一クラブの共存共栄
- ・4種、女子との情報共有
- ・一貫指導体制の充実

### 地域との連携

- ・外部コーチ等との協力体制強化
- ・少人数でもプレー機会の確保
- ・合同チームでの試合環境の充実

### 保護者との連携

- ・リスペクトの啓発
- ・暴力根絶の啓発
- ・HPやFBを活かした情報提供

重点課題	現状	今後の取り組み
リーグ文化	リーグ文化定着。土日連戦解消達成。道東カブス、道カブスへの参入。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全エリアにB級コーチを配置</li> <li>・トレセンや研修会に指導者が集い研鑽を積む→リーグのさらなる向上へ</li> </ul>
女子選手	女子委員会との連携強化。トレセン活動へのサポートが課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女子の日常的練習、試合環境の創出</li> <li>・女子トレセンへスタッフ2名派遣</li> </ul>
ファミリー拡大	地区協会HPならびにFacebookページにこまめに大会情報配信。リスペクト事例の発信が不足	大会情報発信の継続 各チームでリスペクトの取組推進 リスペクト事例の重点的発信

## 2022年度 オホーツク地区サッカー協会第4種委員会 事業計画

### 〈大会事業〉

- 1・ U-12サッカーリーグin北海道 道東ブロック オホーツク地区リーグ2022  
(第16回 TSUBOTAKE杯)オホーツク地区U-12サッカーリーグ  
日程：5月～9月（日曜日開催）  
会場：オホーツク地区内サッカーグラウンド  
◎成績上位3チームは、道東ブロック大会へ進出（変更あり）  
■道東ブロック予選（ 地区）  
■北海道予選（ 地区）  
■全国大会（ 県）
  
- 2・ U-10サッカーリーグin北海道 道東ブロック オホーツク地区リーグ2022  
日程：5月～9月（日曜日開催）  
会場：オホーツク地区内サッカーグラウンド  
◎U-12リーグと同一のリーグ編成
  
- 3・ フジパングループPresentsロバパンCUP第53回全道U-12サッカー大会オホーツク地区予選大会  
兼第6回トヨタカローラ北見U-12サッカー大会  
日程：7月 2日（土）・ 3日（日）  
会場：北見モイワスポーツワールド  
◎成績上位2チームは、全道大会へ進出  
■全道大会（オホーツク地区） 7月29日～31日  
会場：北見モイワスポーツワールド
  
- 4・ 第17回二建会旗  
旗兼第18回全道少年U-10サッカー大会北北海道大会 オホーツク地区予選大会  
日程： 6月18日（土）・ 19日（日）  
会場：網走スポーツトレーニングフィールド  
◎成績上位3チームは、北北海道大会へ進出  
◎U-8サッカー教室を並行開催  
■北北海道大会（旭川地区） 7月 16日～17日
  
- 5・ トラック協会杯  
第33回全道少年団（U-11）サッカー大会 オホーツク地区予選大会  
日程： 月 日（土）・ 日（日）  
会場：未定（調整中）  
◎成績上位1チームは、全道大会へ進出  
■全道大会（札幌地区） 9月17日～18日
  
- 5・ 2022年度全道少年（U-12）8人制サッカー大会  
兼第19回JA全農杯全国小学生選抜サッカー大会IN北海道オホーツク地区予選大会  
日程：10月 1日（土）・ 2日（日）  
会場：えんがる球技場  
◎成績上位1チームは、全道大会へ進出  
■全道大会（ 地区） 4月 8日～ 9日

- 7・ 第6回オホーツクU-12サッカーフェスティバル  
日程： 10月 8日（土）・ 9日（日）  
会場：えんがる球技場
  
- 3・ 2022全道フットサル選手権（U-12）網走地区予選大会  
日程： 12月10日（土）・11日（日）  
会場：遠紋地区  
◎成績上位1チームは、全道大会へ進出  
■全道大会 （札幌地区） 2月25日～26日
  
- 9・ 全日本少年フットサル大会網走地区予選大会  
日程： 1月28日（土）・29日（日）  
会場：斜網地区  
◎成績上位2チームは、道東ブロック大会へ進出  
■道東ブロック大会（ 地区） 月 日～ 日  
■全道大会 （ 地区） 月 日～ 日
  
- 0・ 第5回オホーツクU-12フットサルフェスティバル  
日程： 2月 4日（土）・ 5日（日）  
会場：地区内体育館

〈普及事業〉

- 1・ キッズサッカーフェスティバル  
日程： 未定（リーグ戦開催期間中に実施）  
会場：オホーツク地区内サッカーグラウンド

OKFA第4種委員会 「16→25プラン」 (仮説と検証の指標)

●リーグ文化の醸成		<対象>		<成果>	
<仮説> 「4種登録クラブが」		「よいゲーム環境のリーグ戦を経験することで」		「①リーグ戦の充実」「②競技力の向上をさせることができる」	
<指標>	「4種登録クラブ数」	「リーグ戦の開催方法など」	「①U-12リーグ参加チーム数」	「②全日小・道東大会出場チームの平均勝ち点」	
2016	25	・複数チームエントリーの要件緩和	23	0.5	
2017	25	↓	21	0.5	
2018	21	↓	22	3.5	
2019	21	・後期リーグ3部制による拮抗したゲーム環境の創設	22	1.5 ※	
2020	20	↓	19	1.5	
2021	21	↓	20	—	
2022					
2023					
2024					
2025					

※2019より大会方式変更(3チームリーグ×3 → 4チームナット×3)

●女子選手倍増計画		<対象>		<成果>	
<仮説> 「4種事業に参加する女子選手が」		「女子選手が参加しやすい環境をつくることで」		「4種登録してサッカーを楽しむようになる」	
<指標>	「4種事業に参加する女子選手数の総計」	「女子選手が参加しやすい事業展開・環境整備」	「4種登録の女子選手数」		
2016	(集計せず)	・女子U-12チームのU-10リーグ参加	61		
2017	(集計せず)	・ホークサッカー・フットサルフェスへの女子U-13選手参加	58		
2018	280	・女子普及事業の立ち上げ	65		
2019	288	・U-12女子トレセン遠征(技術委員会所管事業)	71		
2020	284	↓	70		
2021	131	↓	64		
2022					
2023					
2024					
2025					

●みんながつながっている		<対象>		<成果>	
<仮説> 「4種事業の参加選手が」		「充実した4種事業でサッカー経験をすることで」		「子どもも、大人も、より多くの」「②競技力の向上をさせることができる」	
<指標>	「4種事業に参加する選手数の総計」	「プレイヤーズファーストの支店に立った事業展開・推進」	「①4種登録の選手数」	「②各クラブのスタッフ数の総計」	
2016	(集計せず)	・キッズフェスの開催(網走・北見) ・FBでの情報発信	612	116	
2017	(集計せず)	・キッズフェスのエリア開催 ・ホークサッカー/フットサルフェス開催	552	117	
2018	3528	↓	560	125	
2019	3620	↓	562	127	
2020	3864	・オホーツクサッカー/フットサルフェス開催	600	105	
2021	1545	・オホーツクサッカーフェス開催	613	117	
2022					
2023					
2024					
2025					

2022 年度 オホーツク地区サッカー協会 女子委員会 事業計画

1. 普及事業計画

7月10日(日)	JFA レディースサッカーフェスティバル	北見モイワスポーツワールド
11月未定	第6回 OKFA レディースフットサルフェスティバル	未定

OKFA 16→25 プラン 女子選手倍増計画

- オホーツクエリアガールズサッカースクール 小学校3年生～4年生対象  
不定期開催  
低学年から女子選手でトレーニングを行い女子選手の普及を行う。
- OKFA 女子フットサルフェスティバル (11月開催予定)  
一般・ノービスの部にて開催予定  
女子選手の試合経験の確保と普及を目的とするフェスティバルの開催

2 全道大会

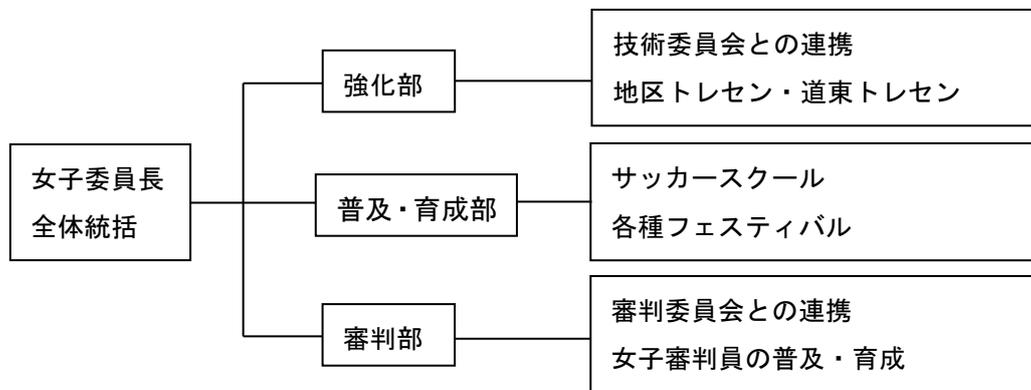
一般 U-15 U-18

4月9日(土) ～10日(日)	第3回 U-13 (中学生) 8人制ブロック交流大会	札幌
8月20日(土) ～21日(日)	道新カップ第1回北海道女子8人制サッカー大会 (新規大会)	札幌
9月23日(金祝) ～25日(日)	第25回北海道女子ユース (U-18) サッカー選手権大会 兼 JOC ジュニアオリンピックカップ 第26回全日本女子ユース (U-18) サッカー選手権大会北海道予選	苫小牧
9月17日(土)～ ～19日(月祝)	第30回北海道U-15女子サッカー選手権大会 兼 JFA 第27回全日本U-15女子サッカー選手権大会北海道大会 10月19日(日) 決勝戦(札幌)	空知
11月27日(土) ～28日(日)	第14回全道女子ユース (U-15) フットサル大会兼 第13回全日本女子ユース (U-15) フットサル大会北海道予選	釧路
2023年2月11日(土) ～12日(日)	全道フットサル選手権大会2023 女子の部	十勝

3 道東ブロック予選

7月30日(土) ～31日(日)	第30回北海道U-15女子サッカー選手権大会 兼 JFA 第27回全日本U-15女子サッカー選手権大会北海道大会 道東ブロック予選	釧路
---------------------	---	----

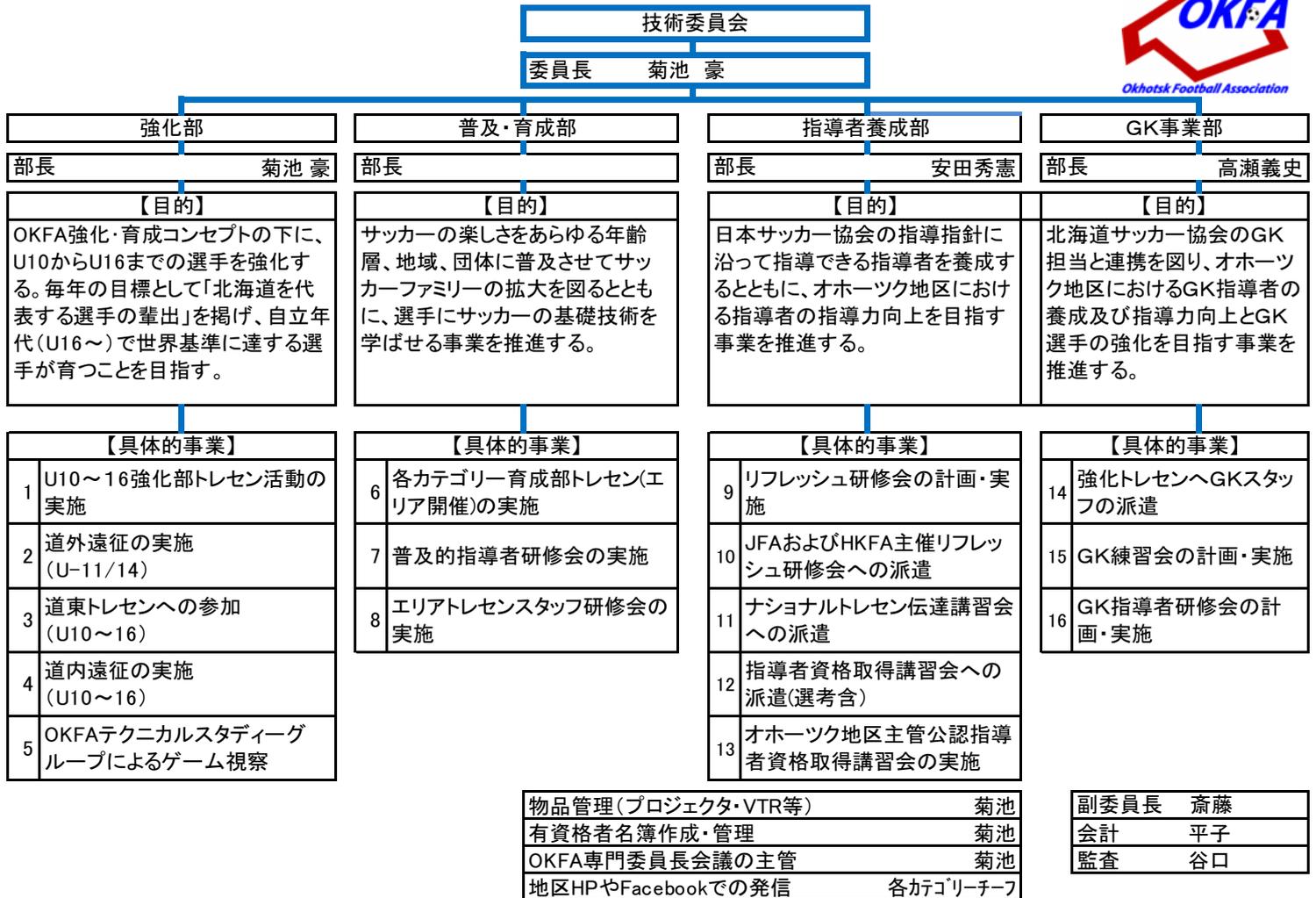
#### 4 組織図



#### ○オホーツク地区女子チーム (2022年3月末現在)

レファ FC	FC 網走 menina	il sole FC
--------	--------------	------------

# 2022年度 オホーツク地区サッカー協会 技術委員会事業計画



【令和4年度 重点目標】

## 16 →25プラン OKFAドリームプロジェクトで掲げた目標と手段の積極的推進

### (1) トレセンとチームの両方で強化を図り、各カテゴリーでの道トレ選手輩出

- OKFA強化育成コンセプトをトレセンスタッフだけでなく、チーム指導者とも共有し、指導者を中心として選手の強化を図る。
- 道東および道内外遠征でマッチを数多くこなし、地区トレセンの強化を図る。
- U-10から個人戦術にはたらきかけ、ゲームの中でスキルを発揮できるように取り組む。

### (2) 普及・育成活動から強化へつなげる事業を推進する

- トレセンデーの定着とスタッフの増員を進め、U10～U16のユース年代のよりきめ細やかな指導が出来る環境を整える。
- GK事業部による普及・育成事業を進めながら、GK選手のプレーの質及びGK指導者の質を向上させる。
- エリアトレセンU11の取組の充実を図る。

### (3) 指導技術向上に向けての取り組み

- 10pのリフレッシュ研修会を各チーム指導者、40pをトレセンスタッフの指導技術向上の場として積極的に働きかけ、より多くの指導者の質をいっそう向上させる。
- JFAトレセン認定制度に向けて、公認C級養成講習会の開催及び公認A・B級取得のトライアルへの参加を呼びかけ、各チームへ公認C級取得を働き掛ける。
- 各種年代及び女子の指導者から、北海道・道東トレセンへ参加を呼びかける。

### (4) ユース育成の組織的推進

- テクニカルスタディーグループ(TSG)を継続実施し、をオホーツク地区ユース年代のゲームにおける選手の現状と課題を把握し、分析結果をオホーツク地区全チームに伝達する。
- OKFAホームページやFacebookにおいて各種のトレセン活動、テクニカルレポートを公開し情報を共有する。
- 各カテゴリー委員会との情報共有を進め、人材交流をしながら育成の全体像を明らかにしていく。(カレンダー調整・予算の有効活用など)

# OKFAユース強化育成コンセプト



オホーツク地区サッカー協会 技術委員会

## 1. ユース育成年代の定義

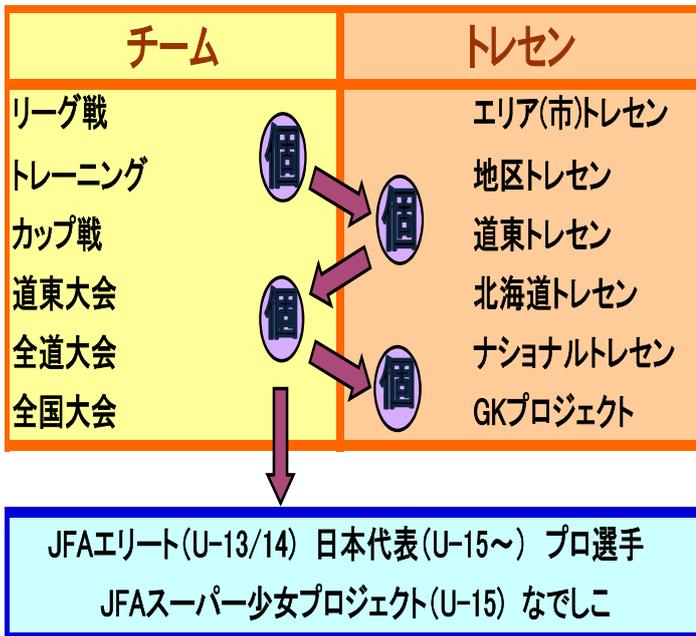
年代	U-10	U-11	U-12	U-13	U-14	U-15	U-16
	ゴールデンエイジ			ポストゴールデンエイジ			クライマックス
ゲーム環境	誰もがフットボーラー(8人制)			ポジションの適性を考える(11人制)			大人のサッカーへ
指導の主眼	個に焦点を当てた育成			チームコンセプトのもとに個を育成			

育成年代を10歳から16歳までと、明確に定義します。つまり小学4年生からは、育成の指導方針に沿って指導していきます。

それぞれの発達段階にあわせて、個に焦点を当てた育成から、徐々にチーム(組織)のコンセプトの下に個が生かされるように指導の主眼を変えていきます。そのために、ゲーム環境をU-8からU-13までは、8人制を主として行い、U-13から14にかけて本格的に11人制に移行していきます。

ただし、このときに注意しなければいけないのは、U-12までは”1対1”だけでいいのかというところではありません。個の育成を主眼としながらも、他のプレーヤーなど自分を取り巻く環境と関わりながら、フットボーラーとしての技術・戦術・体力を磨いていくということです。

## 2. チームとトレセンの両輪による指導



日常のトレーニング環境はチームが主体です。チームにおいて、サッカーに関するすべての要素を発達段階を考慮して指導しています。また、当地区は4種年代でも早い段階からリーグ戦を導入し、8人制にも取り組んできました。チームを通して個を育成する環境が徐々に整いつつあります。

トレセンでは、優秀な選手や意欲の高い選手のトレーニング環境を、より高度なものにできるように取り組んできました。また、これまで世界基準を目指して、地区→道東→北海道→JFAへとつながるステップとしての役割を担い、子どもたちに夢を実現する場を提供してきたつもりです。

チーム・トレセンそれぞれルートは違いますが、個の育成・強化を目指すことに変わりはありません。指導者は、どのような立場であっても「プレーヤーズ・ファースト」の視点に立って、子どもたちの夢の実現の手助けをしていくべきであろうと考えます。

## 3. オホーツク地区の可能性

子どもの成長は時間がかかります。「この子はこれができない」「この子はだめだ」と、決め付けてしまうのは、選手の可能性を奪うことにつながっていくかもしれません。

当地区出身の選手として、奈良竜樹・高瀬愛実といったプロ選手や全国の強豪大学・高校で活躍している選手がいます。これらの選手は、高い技術や身体能力を持っていたと思いますが、どれほどの指導者が彼らがここまで活躍すると予測していたのでしょうか。広いオホーツク地区を考えると、これほどの選手もしくはこれ以上の選手がこれからも育っていく可能性は十分あると思います。

選手の可能性が開花するのは育成年代を過ぎてからということもあります。指導者が彼らのトレーニング環境・ゲーム環境を整えてあげることで、選手が自立したときに、育成年代で身につけた技術・戦術・体力・精神を駆使して彼らは活躍していくことでしょう。

数年前までは、オホーツク地区から優秀な選手を輩出しつつも、地区選抜全体のレベルは常に低位に位置していました。順位だけでなく、ゲーム内容・選手の技術レベルともに、北海道の中では低いといわざるを得ない状況でし

しかしながら、近年のさまざまな取り組み(指導者養成・リーグ戦改革・選抜チームの遠征回数増・各種年代トレセン指導方針の共有など)により、地区選抜に選ばれる選手の質が徐々に上がってきました。右肩上がりの進歩とまでは行かないまでも、さまざまな人のさまざまな努力が形になりつつあるのは事実です。

#### 4. オホーツク地区の課題～可能性を伸ばす～

課題というと欠点を改善するとらえがちですが、オホーツク地区が持っている可能性をどこまでも伸ばすために、どんなことができるかという視点に立って考えてみたいと思います。

	アドバンテージ	ディスアドバンテージ
トレセン選手	”個”だけを見ると秀逸 選手の輩出	組織の中で”個”を生かせない 選手の流出
選手数	指導者一人あたりの選手数が少ない 広域だから、多くの選手の中から選抜	人数が少なくてチームとして成り立たない 近隣にチームがない
指導者	数多くの指導者研修会を実施 指導者研修会に参加し、質の向上	みんな忙しい 指導者の流出

U-10エリアトレセンが定着し、徐々にこの年代に関わる指導者が増え、指導の質も向上してきています。C級ライセンス取得者も増えてきたり、一人ひとりの意欲の向上も見られます。よりいっそう指導者どうしのネットワークの構築・コンセプトと情報共有を目指していきます。普段はそれぞれの生活圏でできることを考え、実行していきながら、組織的に取り組んでいくことが大切だと考えます。

ただ、左の図のように、すぐには解決できない問題も多く抱えています。学校や地域社会をも巻き込んだ改革に着手しなければならないでしょう。

近年、オホーツク地区トレセンから巣立っていった子どもたちが、社会人となって戻ってきています。選手として活動している場合が多いようですが、コーチとして活動しようという意欲のある方もいます。高いレベルを経験してきた貴重な人材を、現場で指導者として育てていくのも我々の仕事であると考えています。各地域協会・クラブ関係者の方々は、情報網を張り巡らせ、優秀な若い指導者に活躍の場を与えていただきたいと思います。

さまざまな成功例を見ると、情熱と行動力・人づくりと仲間づくりで、夢のようなことでも実現が可能だということがわかります。オホーツク地区としても、サッカーに関わる仲間がユース育成のコンセプトを共有・共感して、あきらめずに努力していけば、目標の達成が可能だと思います。「OKFAドリームプロジェクト2022」をみんなで達成しましょ

## OKFAドリームプロジェクト2022

U-16年代以降で日本代表となる選手を複数輩出

U-11年代以降で毎年北海道トレセンクラスの選手の輩出

そのために

4～2種 全チームにC級以上の指導者の登録(常に目指す)

JFA公認サッカー指導者 A・B級コーチ養成講習会に複数の受講生を派遣

毎年、全チームの指導者がリフレッシュ研修会に参加(地区トレセンスタッフは40P・エリアスタッフは10P以上)

エリアトレセンU11/12、U13/14の活動の充実

女子選手の普及・強化のバックアップ体制の整備(OKFA16→25プランより)

各種年代および女子の指導者から、北海道トレセン・道東トレセンの中心となるコーチの複数輩出

# 2022年度 オホーツク地区サッカー協会 審判委員会 事業計画

## 強化部会

地区S強化指定審判員研修

4月～10月

## 育成部会

ユース（中学生）S4新規取得講習会

4月下旬～5月上旬斜網、北見、遠紋各会場

ユース（高校生）S4新規取得講習会

4月中旬、5月下旬

S3上申・S4新規取得講習会

各カテゴリーで調整して実施

## 指導者部会

S2・S3・S4研修会 3種 中体連

6月 26日（土）

2種 選手権

8月 27日（土）

S3インストラクター更新講習会

2月 12日（日）

S2更新講習会

2月 12日（日）、3月 5日（日）

S3・S4更新講習会

JFAラーニング

## フットサル部会

地区F強化指定審判員研修

4月～2月

F3上申・F4新規取得講習会

各カテゴリーで調整して実施

F2・F3・F4研修会 U-15フットサル大会にて

11月 6日（土）

F3インストラクター更新講習会

2月12日（日）

F2更新講習会

2月12日（日）、3月 5日（日）

F3・F4更新講習会

JFAラーニング

## 女子部会

女性のみを対象としたS3上申・S4新規取得講習会（中学生から一般まで幅広く）

女子審判研修会 3種 中体連

6月 26日（土）

2種 選手権

8月 27日（土）

## 研究開発部会

レポート配信、オホーツク地区協会HPへ掲載

4月～3月

## 総務部

審判委員会役員会

4月 10日（日）、2月12日（日）

審判委員会部長会・中間決算報告

10月23日（日）

審判委員会総会

2級審判員へ紙面報告

# 2022 年度 オホーツク地区サッカー協会審判委員会組織図

## 【基本方針】

レフェリングの質を高め、サッカーの質を高める

### (1) 審判員の質の向上

インストラクターが各種大会に行き、審判員の指導・育成を行う。また、他のカテゴリーへの審判活動を参加することにより交流を図るだけでなく、審判技術の幅を持つようにする。ゲーム後のディスカッションを行い、判定基準の統一を図る。

### (2) 若手審判員・ユース審判員の発掘・育成・強化

各カテゴリーより推薦を受けた若手審判員の発掘・育成・強化を行い、1級候補の審判員を育てる。また、ユース審判員を育成し、早い段階から審判技術を身につけさせる。



各種大会審判割り振り(カテゴリー代表)

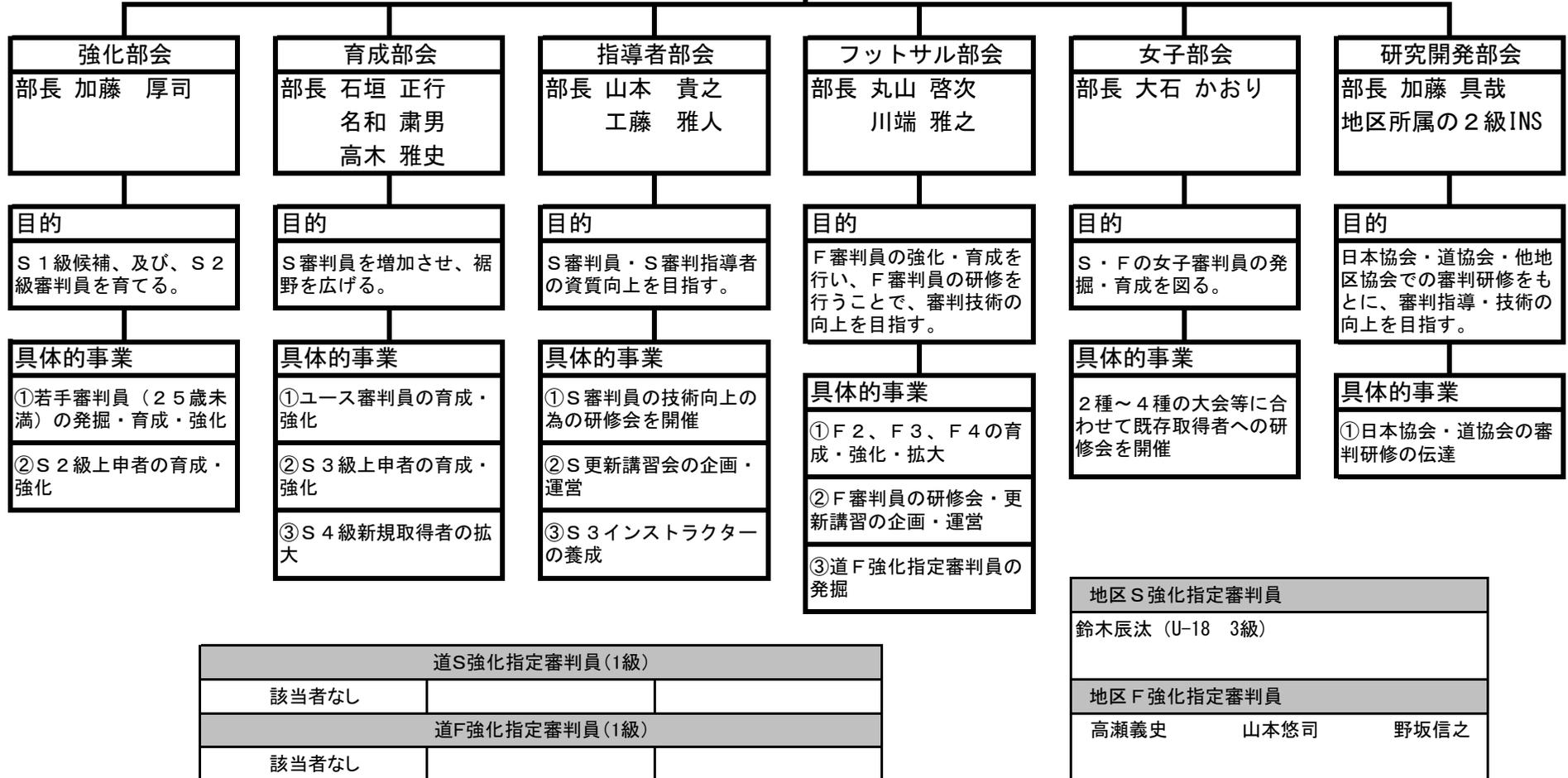
1種	石垣 正行
2種	大石 かおり
3種	山本 貴之
4種	丸山 啓次
大学	加藤 厚司

委員長 加藤 厚司  
副委員長 工藤 雅人

## 総務部

事務局 岡村 英治  
会計 名和 肅男

監査 千田 久幸  
監査 川端 雅之



## 16→25プラン 審判委員会

項目	プラン	期待する効果内容	現在の状況	今後の取り組み
審判資格新規取得促進 (男子)	ユースを中心にアナウンスをして審判員増加をめざす	早い段階で審判活動に興味をもってもらいユース年代のうちに3級・2級をめざしてもらう	少しずつではあるがユース審判員の活動人数も増えている。コロナ過でも道主催の研修会にも参加できた。	少しずつではあるがユースの3級上申者が増えてきている。今後も前向きに継続していきたい
審判資格新規取得促進 (女子)	女子だけの審判資格4級新規取得講習会と研修会も兼ねて開催する。	地元での研修会は女子の審判員が少なく開催することが難しいが、道東や札幌圏などの研修会に参加することで同じ年代の女子審判員との交流もあり積極的に参加する意欲が湧いてくると考えている	2021年度は道主催の研修会に参加することができた。	男子のユース審判員や女子ユース審判員の管外研修会への参加のサポートをしていく
審判資格更新促進	資格更新(更新講習会の受講)を催促するメールを全審判員へ配信する。	⇒従来の地区HPでの更新講習会の案内に加えて、メール配信をすることにより更新講習会受講への誘導、促進が審判員一人一人へ更に直接的なものとなり、より効果が期待出来ると考える。(JFA KickOffの管理者用のメール配信機能を活用する。)	地区HPでの更新講習会の開催案内に加え、メール一括配信での案内も実行出来ている。これにより、更新手続きの忘れ防止、誘導、促進が図られている。	引き続き対応していくことで審判員一人一人に更新手続きを定着させ、資格更新率を引き上げていく。
その他	各カテゴリーから審判の新規取得講習会、研修会等の開催要望があれば、事業計画以外でも実施することを前提として検討していく。(但し、需要人数<参加人数>は実施有無を判断する上での判断材料とはしない。)	⇒一人でも多くの審判員増加へとつなげられる。	2021年度においては数回の開催要望があり、全てにおいて開催し、実施、対応してきた。その結果、少しずつではあるが新規取得者の審判員が増えている。	引き続き柔軟に対応し、出来る限り要望に応えることで着実に審判員の増加へと結び付け、効果を出していく。

# 令和4年度（2022年度） キッズ委員会事業計画

## 本年度事業方針

各カテゴリー選手数の減少傾向は地区協会としての大きな課題であり、サッカーとの出会いの入口であるキッズ世代育成は重要である。そのため【事業体制の強化】【サッカーファミリー拡大】【指導者育成】【財政基盤の安定】を重点課題と位置づけ、各カテゴリーとの連携により効果的な事業を推進する。

### 1. 事業の体制の強化

#### ① 委員会の組織化

地域協会からの委員配置及び各カテゴリーへの窓口担当者配置

#### ② 各カテゴリーとの連携

フェス事業でのスタッフ参加要請

#### ③ 巡回スタッフの拡充

実施時間帯が平日で対応できるスタッフは限られることから専門学校、大学生をスタッフとしての参加を促す。

### 2. サッカーファミリー拡大

#### ① サッカー教室の開催

親子サッカー教室・キッズサッカー教室の定期的な開催

市町村スポーツ事業への指導者派遣

#### ② 幼稚園・保育園への巡回指導の実施

各地区FAにおける幼稚園等の施設把握及び巡回指導実施に向けた指導者派遣

#### ③ フェス等事業の開催

・JFA事業の実施（フットボールデーの実施）

・独自キッズフェスの実施

#### ④ フットサル委員会・女子委員会との連携

3委員会連携によるフェス等の事業運営支援体制の構築

### 3. 指導者育成事業

#### ① キッズリーダー講習会の実施

地域キッズ担当者講習会・保育士対象講習会・各カテゴリー指導者対象講習会の実施

#### ② キッズテクニカルコーチ養成

キッズリーダー取得者の講習会

### 4. 財政基盤の安定

#### ① スポンサーシップによる各種事業の開催

#### ② JFA・トヨタ自動車連携事業の再開

## 令和4年度 フットサル委員会 事業計画

1. 事業名 フットサルフェスティバル 北海道 in オホーツク  
開催日 2023年 2月 19日(日)  
会場 北海道立北見体育センター

### オホーツク社会人サッカー連盟主催事業

1. 事業名 令和4年度 オホーツク社会人フットサルリーグ  
開催日 2022年10月 ~ 2023年3月  
会場 北見市立体育センター 訓子府町スポーツセンター
2. 事業名 第12回全道地区選抜大会  
開催期間 2022年10月15日(土)~16日(日)  
会場 江別市野幌総合運動公園総合体育館
3. 事業名 フットサル大会  
開催期間 2022年11月20日(日)  
会場 北海道立北見体育センター
4. 事業名 全日本フットサル選手権 オホーツク地区予選  
開催日 2022年11月27日(日)  
会場 訓子府町スポーツセンター
5. 事業名 フットサル大会  
開催日 2022年12月11日(日)  
会場 北海道立北見体育センター
6. 事業名 全道フットサル選手権 オホーツク地区予選  
開催日 2023年1月22日(日)  
会場 北見市立体育センター
7. 事業名 フットサル大会  
開催日 2023年2月26日(日)  
会場 北海道立北見体育センター

## 1. 主な事業

### ① ホームページの管理・運営

主に各カテゴリー事業（大会や普及、トレセン活動など）に関する情報の掲載。  
月別延べ訪問数やカテゴリーごとの延べ訪問者数の確認、報告。

### ② フェイスブックの管理・運営

即日性の高さが求められる情報（大会結果など）の提供。  
事業の内容を写真等でより多く掲載。

## 2. 今年度の重点

### ① 情報の質の向上

- ・大会、トレセン活動においては結果だけでなく、様子がわかる写真や報告文を掲載し、利用者に大会情報を伝える。
- ・感染対策による自粛期間中の個人トレーニングアイデアを掲載する。

### ② リスペクトに関する啓発をホームページやフェイスブックに掲載していく。

- ・地域への貢献などを積極的に掲載する。

### ③ ホームページ、フェイスブックの利用者拡大の取り組み

- ・各地域協会の問い合わせ先を掲載。
- ・ファミリー拡大に向けての取り組みを理解、協力、共有。
- ・各カテゴリー担当者と掲載方法（フェイスブック）の共有。

## 令和4年度（2022-2023年）シニア委員会 事業計画

1. 第15回オホーツク地区シニアサッカーフェスティバルを5月に開催予定。  
参加チーム数にもよるが、リーグ戦形式で行う。  
開催地については未定。
2. 第8回オホーツク地区シニアサッカーリーグを開催。  
令和3年度は、オホーツクシニアSC40、北見LEGEND、FC.IDEAL CUARENTA、FCイーグルス.GF、遊蹴会、Revival S.C、F・Cフリースの7チームが40リーグを形成。  
50プレリーグとして、オホーツクシニアSC50と他の混成チームの対戦を計画した。  
リーグ編成・日程・会場については、今後リーグ運営部会にて決定する。
3. 第6回オホーツク地区シニアサッカーオータムフェスティバルを10月に開催予定。  
参加チーム数にもよるが、リーグ戦形式で行う。  
開催地については未定。
4. 第14回オホーツク地区シニアフットサルフェスティバルを11～2月に開催予定。  
参加チーム数にもよるが、リーグ戦形式で行う。  
開催地については未定。
5. 北海道シニアサッカー連盟が主催する各種大会・フェスティバルへの参加。  
道東地区の各シニアチームと連携をとり、地域大会へ参加する。  
オホーツク地区社会人連盟が主催するフットサル大会への参加。

## 令和4年度事業計画(案)(北見サッカー協会)

- 第1種
  - 6、7月 第1回北見サッカー協会ソサイチ交流大会(仮)
  - 3月 第12回北見ふっとさる祭り 北見市立体育館
  
- 第2種
  - 7月～10月 市内高校リーグ(2021OKFA 地区リーグを兼ねて実施)
  
- 第3種・技術
  - 2月～3月 北見エリアウィンターリーグ U-14
  
- 第4種
  - 9月 山本杯(U-12)、鴨下杯(U-10)
  - 10月 明治安田生命杯(U-9)  
※大会と合わせてサッカークリニックを実施する予定
  - 2月 塩別つるつる温泉杯(U-9)
  
- 女子
  - 7月 JFA レディースサッカーフェスティバルの運営協力
  - 11月 第6回OKFA フットサルフェスティバルの運営協力  
※北見市で開催希望 十勝・釧路地区からの参加をよびかけたい
  
- 審判
  - 地区協会大会へ審判協力
  
- 協会事業
  - 9月または10月 モイワスポーツワールド清掃活動
  - 11月 ビールパーティーの開催

## 令和4年度（2022-2023年） 網走市サッカー協会 事業計画

1. 4月 網走市サッカー協会 総会は書面決議を予定。
2. 4月～3月 キッズサッカー教室の開催を支援（用具等の貸与、補充）  
網走市サッカースポーツ少年団（毎月1回、第2土曜開催）  
NPOあばしりスポーツクラブ（毎月1回、第2土曜開催）
3. 4月～3月 道東大会、全道大会に出場するチームに対し、助成金を支給。  
（10,000円/1大会、登録されている全チームに適用）
4. 9月 第35回オホーツクジュニアカップサッカーin2022を後援。  
会場は網走スポーツ・トレーニングフィールドの天然芝を使用予定。  
4種小学生が対象
5. 2月 第22回 網走市サッカー協会 ビールパーティーを開催予定。

# 紋別サッカー協会 2022年度事業計画

## 1 主催事業

- ・ 4月 紋別サッカー協会役員会・総会
- ・ 11月 紋別サッカー協会長杯フットサル・ジュニアサッカー大会  
対象 幼児～小学生

## 2 主管・後援事業

- ・ コンサドーレサッカー教室、コンサドーレ選手交流会（後援）
- ・ 1月 オホーツク文教宣言協議会フットサル大会（主管） 対象 小学生～中学生  
タナカスポーツ杯フットサル大会（主管） 対象 一般
- ・ 2月 市民フットサル大会（主管） 対象 幼児・小学生・一般（中学生以上）

※各種事業を通じサッカーファミリー拡大を図る。

## 3 その他

協会加盟チーム（1種～4種）への活動助成金交付

## 4 (株)北海道コンサドーレとの連携

「紋別市と(株)コンサドーレとの相互交流に関する協定」に基づき、スポーツを通じた相互交流関係の推進のため、紋別サッカー協会も連携を図る。

○主な取り組み

- ・ 指導者派遣に伴う市内各チームへの指導（2022年度より新指導者派遣）
- ・ 未就学児、小学生へのサッカー教室開催
- ・ 未就学児、未経験者へのサッカー教室開催（巡回含む）、体づくり教室等のサポート
- ・ 市、協会、コンサドーレ紋別後援会と一体となったサポート体制の構築

## ○ OKFA16→25プラン

- ①施設の充実 本年度、旧道都大学体育館を改修した新施設がオープン。全面ロングパイル人工芝を敷設することで、冬期間も屋外に近い環境でトレーニングが可能となる。
- ②女子選手倍増計画 4種年代では複数の女子選手が在籍するが、中学進学を機に大半はサッカーを辞めてしまう。フェスティバルや女子トレセン等、女子だけで集まる機会には積極的に参加しているので、近隣協会、クラブとの連携のもとに女子選手の活躍の場が必要。
- ③リーグ文化の醸造 各年代ともリーグ戦の定着により、試合数の確保が図られている。一方、試合の増加に伴い、試合の趣旨・意図を消化しきれないまま試合を単にこなしているだけに陥る可能性がある。
- ④みんなつながっている サッカーを「する人」・「見る人」・「支える人」全てのサッカーファミリーの確保を図る。コロナ禍により継続した活動が難しくなっており、モチベーションの維持のためにも様々な形での連携は必要。  
(株)コンサドーレ・北海道コンサドーレ札幌紋別市後援会等との連携。

# 遠軽サッカー協会（令和4年度 事業計画）

○6月 5日（日）：第7回遠軽信用金庫旗U-10サッカー大会

対象 4年生以下

場所 えんがる球技場

○8月 6日（土）：第17回がんぼうカップサッカー大会

対象 5年生以下

場所 えんがる球技場

○9月17日（土）：第32回遠軽サッカー協会親睦交流会（ピクニックパーティー）

場所 遠軽町福祉センター2階大ホール

○9月23日（金・祝）：第16回遠軽キッズサッカーフェスティバル

対象 幼稚園年長児、1・2年生、幼稚園年長児の母、1・2年生の母

場所 えんがる球技場

○10月10日（月・祝）：第30回遠軽サッカー協会会長杯中学校サッカー大会

場所 えんがる球技場

○3月 4日（土）：第20回遠軽サッカー協会会長杯フットサルユニバーサルサッカー大会

対象 幼稚園年長児、小学校各学年

場所 遠軽町総合体育館

○3月 5日（日）：第41回遠軽室内サッカー大会

対象 中学生以上

場所 遠軽町総合体育館

※ 4月～3月：少年団指導援助事業

対象 小学校3年生～6年生

※ 4月～3月：キッズ指導事業

対象 小学校1年生・2年生



# 斜里サッカー協会

## OKFA 16→25プラン達成に向けて【令和4年度 事業計画】(案)

重点課題	計 画	実 行	検 証	修 正	担 当
①リーグ文化の醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1種登録チームの復活（クラブ化検討）</li> <li>・サッカー、フットサルフェスを開催</li> </ul>				千 葉 成 田
②女子選手倍増計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なでしこひろばへの参加</li> <li>・女子フェスティバルへの参加</li> <li>・親子サッカーの定期開催</li> </ul>				横 山
③施設の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・斜里町に施設整備（オールシーズン利用可）の要望をあげる</li> <li>・陸上競技場の施設管理を斜里サッカー協会で行う</li> </ul>				成 田 門 間
④みんなつながっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各カテゴリーに情報担当者を配置し、SNS等を利用して積極的に情報発信を行う</li> </ul>				各担当

## OKFA 16→25プラン達成に向けたスケジュール

斜里協会 総会	P	各プラン承認	R 4	5月中～下旬
プラン承認後	D	実 行	R 4	シーズン
斜里協会 役員会	C	プラン検証	R 5	3月初旬
斜里協会 総会	A	プラン修正	R 5	5月中～下旬

## 令和4年度 美幌町サッカー協会 事業計画

月 日	事 業 内 容	備 考
<b>令和4年</b>		
5月～	キッズサッカー教室	幼稚園児、小学生低学年対象 あさひ広場公園多目的運動広場（予定）
11月～	キッズサッカー教室	幼稚園児、小学生低学年対象 美幌町サニーセンター（予定）
5月～	小学生サッカー教室	小学生低学年対象 あさひ広場公園多目的運動広場（予定）
7月 17日	第37回北網地区社明杯少年サッカー大会 兼 第11回ライオンズクラブカップサッカー大会	あさひ広場公園多目的運動広場 美幌中学校グラウンド（予定）
11月 27日	美幌町冬季体育祭会長杯争奪サッカー大会 (1st)	美幌町サニーセンター開催（予定）
<b>令和5年</b>		
2月 5日	美幌町冬季体育祭会長杯争奪サッカー大会 (2nd)	美幌町サニーセンター開催（予定）

# 2022年度会計予算(案)

オホーツク地区サッカー協会

## 収 入

項 目	前年度決算	予 算	対 比	内 訳
繰越金	879,654	1,076,939	197,285	
登録料	1,841,800	1,800,000	△ 41,800	オホーツク地区サッカー協会 登録料
道協会交付金	432,500	423,400	△ 9,100	R3(公財)北海道サッカー協会交付金
道協会特別補助金	990,000	990,000	0	地区主催大会支援59万 地区トレセン支援20万 事務局支援費20万
その他	1,277,000	200,000	△ 1,077,000	広告料(さかきばら泌尿器科100,000) 広告料(アートホーム50,000、第一工業50,000)
利息	24	661	637	利息等
合計	5,420,978	4,491,000	△ 929,978	

## 支 出

項 目	前年度決算	予 算	対 比	内 訳
事務局費	19,720	110,000	90,280	事務用品 15,000 印刷発注 64,000 道協会役員費 21,000 その他 10,000
通信費	11,293	140,000	128,707	送料 20,000 振込手数料 20,000 インターネット回線 70,000 携帯電話 30,000
事業費	350,000	550,000	200,000	道東リーグ補助 50,000 社会人連盟補助 180,000 2種FAリーグ補助 60,000 全道大会補助 200,000 地域協会事業補助 60,000
事業委員会費	1,790,000	1,790,000	0	第1種 10,000 第2種 60,000 第3種 60,000 第4種 60,000 審判 10,000 技術 1,370,000 フットサル 30,000 女子 50,000 シニア 30,000 キッズ 10,000 情報 100,000
OKFA16→25 プラン事業	790,000	790,000	0	
旅費	42,500	70,000	27,500	常任理事会 50,000 規律・フェアプレー委員会 5,000 役員会議 5,000 その他 10,000
会議費	20,748	40,000	19,252	常任理事会 20,000 規律・フェアプレー委員会 5,000 総会 0 その他・役員会議 15,000
負担金	0	145,000	145,000	道東ブロック協議会負担金 0
積立金	50,000	50,000	0	PC購入積立金 0
事務局手当	140,000	140,000	0	事務局長 60,000 事務局次長 30,000 会計 50,000
記念費	9,620	10,000	380	表彰者・功労者
慶弔費	0	10,000	10,000	弔電・祝儀
予備費	1,125,958	646,000	△ 479,958	
合計	4,349,839	4,491,000	141,161	

# オホーツク地区サッカー協会規約

## 第一章 総 則

(名 称)

第1条 この会はオホーツク地区サッカー協会（以下、「本協会」という。）と称する。

(目 的)

第2条 本協会は、公益財団法人日本サッカー協会及び公益財団法人北海道サッカー協会（以下、「上部協会」という。）に加盟し、オホーツク管内全域のサッカー界を統括し、サッカー競技の普及発展を計り、スポーツ振興と心身の健康な発達に寄与することを目的とする。

(構成員)

第3条 本協会は、本協会に登録したチームのメンバー及び本協会の目的に賛同する者（以下、「構成員」という。）をもって構成する。

(規約の目的)

第4条 本協会の組織運営は、この規約に基づいて行なう。

(事務所)

第5条 本協会の事務所は、北見市におく。

## 第二章 事 業

(事 業)

第6条 本協会は、第2条の目的を達成するために次の事業を行なう。

- (1) オホーツク地区サッカー競技大会並びに、全道大会の予選大会の主催、主管又は後援。
- (2) オホーツク地区を代表する選手団の選考及び認可。
- (3) サッカー親善交歓試合等の開催。
- (4) サッカー競技技術の研修会、講習会の開催。
- (5) サッカー競技審判の研修会、講習会の開催及び2級更新、3級、4級審判員の公認。
- (6) その他目的を達成するための事業及び重要事項の処理。

## 第三章 役 員

(役 員)

第7条 本協会に次の役員をおく。

- (1) 会 長 1名
- (2) 副会長 若干名
- (3) 理事長 1名
- (4) 副理事長 若干名
- (5) 常任理事 若干名
- (6) 会計監査 2名
- (7) 評 議 員 若干名

(会長等の選出)

第8条 会長、副会長、理事長および副理事長は、総会において選出する。ただし、欠員が生じた場合は常任理事会において選出する。

2 常任理事及び会計監査は構成員から選出するほか、次により選出する。ただし、必要に応じて構成員以外から選出することができる。

(1) 専門委員会からの選出

各専門委員会の委員長を常任理事とする。ただし、審判委員会および技術委員

会からは、委員長を含む2名を常任理事とする。

(2) 地域協会からの選出

各地域協会の理事長又は同程度の職務に関わる者1名を、常任理事とする。ただし、北見サッカー協会からは、2名の常任理事とする。

3 評議員は、各地域協会の会長とする。ただし、その他の役員の職にある者を除く。

4 常任理事、会計監査及び評議員は、総会の議を経て会長が委嘱する。

(会長等の職務)

第9条 会長は、本協会を代表し、会務を統括する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長が事故あるときはその職務を代行する。

(理事長等の職務)

第10条 理事長は、日常の全般的業務を処理する。

2 副理事長は、理事長を補佐し、理事長が事故あるときはその職務を代行する。

(常任理事の職務)

第11条 常任理事は、分担業務を処理する。

(会計監査の職務)

第12条 会計監査は、本協会の会計業務を監査する。

2 会計監査に関する処務事項は、別に定める。

(役員の任期)

第13条 役員の任期は、4月1日から翌々年の3月31日までの2年とする。

2 欠員等で補充又は増員により選任された役員の任期は、前項の規定にかかわらず、前任者又は現任者の残任期間とする。

(名誉会長)

第14条 本協会に名誉会長を置くことができる。

2 名誉会長は、会長の相談に応じる。

## 第 四 章 会 議

(会議の開催)

第15条 本協会に次の会議を置く。

(1) 総会

(2) 常任理事会

(3) その他会長が必要と認めた会議

(総会の開催)

第16条 総会は、毎年4月に開催するほか、次の場合に開催することができる。

(1) 本協会構成員の2分の1以上の連名を持って開催要求があるとき。

(2) 会長が必要と認めたとき。

(総会の議決事項)

第17条 総会は、次に掲げる事項を審議決定する。

(1) 規約、規定の制定、改廃

(2) 役員の選出

(3) 事業計画の樹立

(4) 予算、決算の承認

(5) その他重要事項の決定

(総会の成立、議決数及び議長)

第18条 総会は、本協会に登録した加盟登録団体代表者（以下、「代表者」という。）の3分の2の出席をもって成立し、出席者の2分の1以上の同意をもって議決する。

2 総会に出席できない代表者は、委任状をもって議長に一任し、出席に代えることができる。

3 総会の議長は、会長が務めるものとする。

(常任理事会の構成と議長)

第19条 常任理事会は、会長、副会長、理事長、副理事長及び常任理事をもって構成する。

- ただし、必要に応じて会計監査、評議員その他の者を出席させることができる。
- 2 常任理事会の議長は、理事長が務めるものとする。
  - 3 常任理事会は、総会の議決事項、総会より委任された事項及び緊急事項を処理する。
  - 4 処理事項はすべて総会に報告し、承認を求めなければならない。

(その他の会議)

第20条 本協会は、必要により次の会議を開催することとする。

(1) 役員選考委員会

役員選考委員会は、役員改選時に召集し、選考役員は、会長、副会長、理事長、副理事長とする。

役員選考委員会の構成は、常任理事若干名とする。

(2) 専門委員会委員長会議

(3) 地域協会代表者会議

## 第五章 専門委員会

(設置)

第21条 本協会は、事業の必要に応じて専門委員会（以下、「委員会」という。）を設置できる。

(構成)

第22条 委員会は、本協会役員及び構成員で組織する他に、必要に応じて該当の専門家をその委員会に加えることができる。

(委員会の規定)

第23条 委員会は、その実施運営上の規定を別に定めることができる。

(委員長の選出)

第24条 委員会は、役員改選時に指定された期日までに委員長案を会長に報告する。

- 2 会長は、その報告を受けて適当と判断した場合は承認する。委員長が交代する場合も、同様とする。

(委員長の任期)

第26条 委員長の任期は、原則、最長3期6年までとする。6年を超える場合は常任理事会で協議し承認を得るものとする。ただし、審判委員会および技術委員会の委員長については、1期2年ごとに会長の承認を受ける。

(常任理事会の出席)

第27条 常任理事会において、委員長等の常任理事が出席できない場合は、当該専門委員会からの代理出席を義務付ける。

## 第六章 加盟登録団体

(加盟登録団体の定義)

第28条 加盟登録団体とは、日本サッカー協会が制定したサッカー競技規則等によりサッカー競技等を行う団体で、本協会を通じて上部協会に加盟登録を承認されたものをいう。

(加盟登録方法)

第29条 本協会を通して上部協会に加盟登録しようとする団体は、別に定める登録用紙に必要事項を記入し、会費を添え、本協会事務局に毎年4月末日までに登録しなければならない。

(未登録団体)

第30条 本協会に未登録の団体は、原則として本協会および上部協会が開催する公式行事に参加することができない。

(登録団体の種別)

第31条 本協会の加盟登録団体の種別は、日本サッカー協会基本規定第50条第1項の規定による。

2 前項に定める年齢は、日本サッカー協会基本規定第50条第2項の規定による。

(競技規則)

第32条 競技規則は、全て日本サッカー協会制定の競技規則による。

(登録の変更)

第33条 加盟登録後、その内容に変更が生じた場合は、その都度速やかに本協会に届け出なければならない。

(団体登録の追加)

第34条 年度途中に新たに団体を結成して本協会及び上部協会（以下、「本協会等」という。）が開催する大会等に参加する団体は、大会等の規定期日までに本協会等の登録手続きをしなければならない。

(登録団体の審判員)

第35条 加盟登録団体は、3級以上の登録審判員1名をその団体に所属させることを原則とする。

## 第七章 地域・市町村サッカー協会

(地域協会)

第36条 本協会は、オホーツク管内の各地域及び各市町村に組織されるサッカー協会（以下、「地域協会」という。）と連帯を図り、互いに協力して第6条の事業を行う。

## 第八章 評議員会

(評議員会の設置)

第37条 本協会の事業を円滑に進めるために、評議員会を置く。

(組織)

第38条 評議員会は、評議員、会長、副会長、理事長、地域協会の理事長等で組織する。

(会議)

第39条 評議員会の会議は、会長が必要と認めたときに開催する。

2 評議員会は、本協会に意見を述べることができる。

## 第九章 連盟・特別委員会等

(連盟・特別委員会)

第40条 本協会は、必要に応じて連盟・特別委員会等を置くことができる。

## 第十章 会計

(会計)

第41条 本協会の経費は、次の収入をもってあてる。

- (1) 会費（登録金および負担金）
- (2) 寄付金
- (3) その他

(会計年度)

第42条 本協会の会計年度は、毎年4月に始まり、翌年3月31日に終わることを原則とする。

## 第十一章 事務局

(事務局)

第43条 本協会に、その業務を処理するため事務局を設置し、事務局には、事務局長、事務局次長及び会計を置くことができる。

- 2 事務局長、事務局次長及び会計は、常任理事会の議を経て役員の中から選出し、総会で承認を得なければならない。
- 3 事務局は、本協会の登録事務、庶務、会計、上部協会及び他団体との連絡調整及びその他必要事項の処理を行う。

## 付 則

1. この規約は昭和 54 年 4 月 18 日より施行する。
2. この規約の一部改正は昭和 56 年 4 月 16 日より施行する。
3. この規約の一部改正は昭和 62 年 4 月 26 日より施行する。
4. この規約の一部改正は平成 5 年 4 月 18 日より施行する。
5. この規約の一部改正は平成 9 年 4 月 20 日より施行する。
6. この規約の一部改正は平成 11 年 4 月 18 日より施行する。
7. この規約の一部改正は平成 15 年 4 月 14 日より施行する。
8. この規約の一部改正は平成 18 年 4 月 9 日より施行する。
9. この規約の一部改正は平成 19 年 4 月 8 日より施行する。
10. この規約の一部改正は平成 24 年 4 月 8 日より施行する。
11. この規約の一部改正は平成 31 年 4 月 14 日より施行する。

## 表彰に関する規定

- この規定は、オホーツク地区サッカー協会（以下、「本協会」という。）に功績、功労のあったもの、または優秀な成績をあげたものの次の2種の表彰について規定するものである。
  - 表彰状
  - 感謝状
- 表彰区分は次のとおりとする。
  - 表彰状
    - 本協会の振興に努めるとともに、本協会の発展のため長年（10年程度）尽力し、その功績が顕著なもの。
    - 本協会関係者および団体に事業推進に功績のあったもの。
    - 本協会内に存在するチームで全国大会出場、全道大会で優勝、またはこれに準じる成績をあげたチーム。
    - 本協会内に存在するチーム内の個人が道を代表する選手、役員に選ばれ顕著な活躍をしたもの。
  - 感謝状
    - オホーツク管内の団体および個人で本協会の事業に貢献し、普及、発展のために功労のあったもの。
    - 本協会に対し相当な寄付のあった団体または個人。
    - その他必要と認めたもの。
- 表彰の決定・方法は次の通りとし、記念品を添え授与する。
  - 本協会四役において該当者を推薦し、常任理事会において審査決定する。
  - 表彰は、創立記念式典において表彰する。
  - 表彰状の②、③、④に該当する団体・個人の表彰は単年度とし、総会時に会長が表彰する。
- この規定は、平成2年4月22日より実施する。

## 慶弔に関する規定

慶弔金については、次のとおりとする。

- 慶弔金については、会長、理事長及び事務局長で、その都度協議し決定する。
- その他規定によって定め難い場合については、三役で協議し、常任理事会に報告をする。
- この規定は、平成16年4月18日より実施する。

## 専門委員会に関する規定

- オホーツク地区サッカー協会規約第21条の規定により、下記の専門委員会を設置する。
  - 規律・フェアプレー委員会
  - 審判委員会
  - 技術委員会
  - 第1種委員会
  - 第2種委員会
  - 第3種委員会
  - 第4種委員会
  - 女子委員会

- ⑨キッズ委員会
  - ⑩フットサル委員会
  - ⑪シニア委員会
  - ⑫情報委員会
2. 各委員会の規定及び役員等は、別に定める。
  3. この規定は、平成19年4月8日より施行する。

## 連盟に関する規定

1. オホーツク地区サッカー協会規約第40条の規定により、下記の連盟を設置する。
  - ①オホーツク社会人連盟
2. 連盟の規定及び役員等は、別に定める。
3. この規定は、平成19年4月8日より施行する。

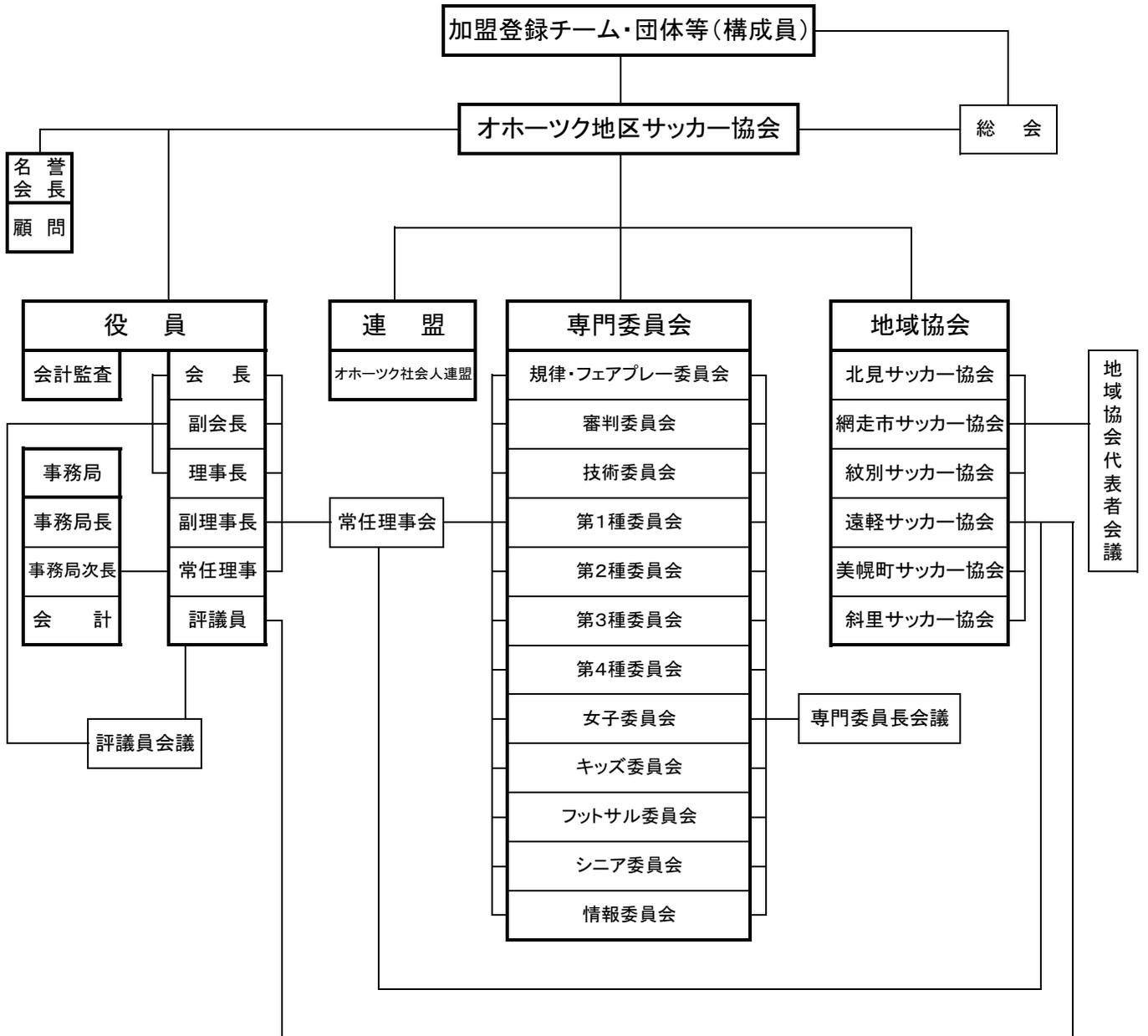
## 規律・フェアプレー委員会規定

1. オホーツク地区サッカー協会に規律・フェアプレー委員会をおく。
2. オホーツク地区サッカー協会において指導・処罰しなければならないような事項が発生した場合、その裁定にあたる。
3. 裁定は規律・フェアプレー委員の合議による。
4. 規律・フェアプレー委員会には、次の役員を置く。
  - ①委員長 1名（理事長）
  - ②委員 若干名（副理事長、審判委員長、事務局長、専門委員長（該当する加盟登録団体の専門委員長））
5. この規定は、平成19年4月8日より施行する。

## 会計監査に関する規定

1. 事務局の会計監査
  - ①事務局長の確認  
会計は、事務局長が指定する期日までに、領収書、帳簿及びその必要な書類を整理し、会計決算報告書を作成し、事務局長の確認を得なければならない。
  - ②会計監査  
事務局長及び会計は、会計監査が指定する期日に監査を受けなければならない。
2. 専門委員会の会計監査
  - ①事務局長の確認  
各専門委員会は、事務局長が指定する期日までに、領収書、帳簿及びその必要な書類を整理し、会計決算報告書を作成し、事務局長の確認を得なければならない。
  - ②会計監査  
各専門委員会は、会計監査が指定する期日に監査を受けなければならない。
3. この規定は、平成19年4月8日より施行する。

# オホーツク地区サッカー協会 組織図





# さかきばら泌尿器科

〒090-0834 北見市とん田西町307-1

TEL: 0157-32-7331 Fax: 0157-25-3538

<http://www.sakakibara-hinyoukika.com/>

## 診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
午前(9:00 ~12:00)	●	●	●	●	●	●	×
午後(14:00 ~18:00)	●	●	●	×	●	×	×

## 主な診療内容

- ・前立腺肥大症
- ・悪性腫瘍(前立腺がん、膀胱がん、腎がん)
- ・膀胱機能障害(神経因性膀胱、過活動膀胱、間質性膀胱)
- ・尿路感染症(膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎、性感染症)
- ・血尿、尿潜血、蛋白尿の精査
- ・尿路結石
- ・尿失禁
- ・腎機能障害、腎不全(保存期)
- ・男性機能障害(ED、男性更年期、男性不妊)
- ・小児泌尿器科(おねしょ、包茎、亀頭包皮灸、停留精巣など)

# ARTHOME

住宅設計・施工、住宅増改築・リフォーム、家具の製作販売、インテリア用品の販売、店舗の設計・施工、マンション・アパートの設計・施工

株式会社アートホーム

北見／北見市本町2丁目4番10号

TEL／0157-68-1110(代)

FAX／0157-68-1880

E-mail／[mail@k-arthome.co.jp](mailto:mail@k-arthome.co.jp)

<http://www.k-arthome.co.jp/>



## 第一工業株式会社

ウレタンと金属の複合防水工法

### UM工法

耐火30分認定番号FP030RF-9336

### LSB工法

耐火30分認定番号FP030RF-9335

## 防水工事施工・外壁工事施工

〒090-0806

北見市南町1丁目8番33号

TEL:0157-23-4155

FAX:0157-23-4156

E-mail/[daiichikogyo.co.jp](mailto:daiichikogyo.co.jp)

<http://www.daiichikogyo.jp/>